



「生きがい・ふれあい・助け合い」

郷づくり情報

第 15 号 平成28年12月21日発行
発行者 大山郷づくり協議会
事務所 大山新80番地 (大山ファミリーの郷)
☎/FAX 506-7161

ウッドキャンドルナイト @ 大山

これまでの金山整備で伐採した木でつくった
200本のウッドキャンドルが、夜の大山を
温かく照らします。
皆様、ぜひお越しください！！

日時：1月15日(日) 17時～18時半

※雨天の際は1月29日(日)に順延

会場：北野公民館裏の農地 **※参加費無料**

※別途駐車場 (60台程度) あります。

お問い合わせ先：079-506-7161

(大山郷づくり協議会事務局)

プログラム

- 皆で一緒に点火式
- ウッドキャンドルを使った軽食のふるまい



主催：大山郷づくり協議会、篠山市地域おこし協力隊
共催：一般財団法人大山振興会、大山地区自治会長会

部会の取組み

《安心・安全・環境部会》

幼稚園に防災ヘルメットを寄贈

安心・安全・環境部会では、大山幼稚園に園児用防災ヘルメットを23個寄贈致しました。これにより、大山小学校、大山幼稚園の児童、園児全員に防災ヘルメットが行き渡り災害時の身の安全が確保できるようになりました。

11月24日ふれあい館にて、幼稚園の園児への防災ヘルメット寄贈式を行い、園児のみなさまより御礼の言葉を頂き、このあと大山幼小合同による火災避難訓練にヘルメット（ピンク色）を着用して訓練を行いました。

部会長 園野 廣美



大山幼少合同火災避難訓練（グラウンドにて）

《元気な地域づくり部会》

子どもたちは大山の宝もの！

大山小学校を訪問して、本田毅校長から学校の教育の実情について取材させていただきました。

今は全校児童57名と15名の教職員によって教育活動が展開されています。「夢に向かって目標を持ち、自立をめざす大山っ子」という教育目標を設定し、児童と教職員が一丸となって、目標に向かって日々教育が行われています。

自然豊かな大山の教育環境を取り入れた授業、や地域の人々の積極的な協力などが特色となっています。

将来、変化の激しい時代を生活しなければならない子どもたちに対して数々の生きる力が要求されます。それに相応しい、工夫された授業が行われていることも知ることができました。全員の児童がしっかりと基礎学力を身につけるための授業が行われています。



1年生の授業風景

その一例として

- ① 算数スキルタイム授業 → 毎週月曜日と木曜日に実施されており、算数の基礎力を高める。
- ② 俳句大会 → 言語力を高めるために、年間2回学校行事として行われている。
- ③ スピーチタイム授業 → 自己表現力を養うために、学年ごとや全児童の前で全員に発表させている。

その他教育活動について、興味深いお話を聞くことができました。全てを記事にすることはスペースの関係で出来ませんが、15名の先生方によって大山の子どもたちは日々教育していただいていることを強く感じました。

これらの子どもたちがいつの日か大人になって、大山の人材として活躍している姿を想像しつつ、学校を後にしました。

部会長 松本 三郎

《福祉部会》

福祉サロン等に助成！

大山郷づくり協議会では、福祉の向上を図ることを目的に、福祉サロン等を実施している自治会や団体に支援を行っています。

対象となる団体は補助金の申請をして下さい。

※詳しくは、大山郷づくり協議会事務局まで

大山地区いきいき塾で健康づくり！

皆様方が自分らしく暮らせるよう、健康づくりを支援すべく市、事業所と委託契約を締結し、7月から実施をしています。

毎週月曜日の午後1時から3時まで神田荘で行っていますので、一度体験をして頂き、健康づくりに参加してください。

※申し込みは、市健康課です。

※申込用紙は、各自治会長及び大山郷づくり協議会にあります。

部会長 俣野 孝一